

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 4 月 9 日 (2009.4.9)

【公表番号】特表 2007-516976 (P2007-516976A)

【公表日】平成 19 年 6 月 28 日 (2007.6.28)

【年通号数】公開・登録公報 2007-024

【出願番号】特願 2006-544436 (P2006-544436)

【国際特許分類】

C 0 7 C 45/68 (2006.01)

C 0 7 C 47/19 (2006.01)

C 0 7 C 29/156 (2006.01)

C 0 7 C 31/20 (2006.01)

B 0 1 J 31/24 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 45/68

C 0 7 C 47/19

C 0 7 C 29/156

C 0 7 C 31/20 A

B 0 1 J 31/24 Z

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 21 年 2 月 17 日 (2009.2.17)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 5 4 】

(非水溶液状態における “ 2 - P A ” - C₈ 配位子)

パラホルムアルデヒドの形のホルムアルデヒド 0 . 2 5 m o l 、 N , N ' - ジメチルプロピレン尿素 3 5 m l (0 . 2 6 m o l) 、 R h (a c a c) (C O) ₂ 0 . 1 0 m m o l 、 2 - ホスファ - 2 - オクチル - 1 , 3 , 5 , 7 - テトラメチル - 6 , 9 , 1 0 - トリオキサ - トリシクロ [3 . 3 . 1 . 1 { 3 , 7 }] - デカン 0 . 2 0 m m o l 、 およびトリメチル安息香酸 3 . 1 m m o l をオートクレーブに充填した。オートクレーブ中の内容物を 9 0 に加熱して、この温度で 5 時間保持した。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 5 8 】

(水溶液状態における “ 2 - P A ” - C H ₂ C H ₂ C (O) N P h ₂ 配位子)

ホルマリン溶液 (3 7 % ホルムアルデヒド) の形のホルムアルデヒド 0 . 1 5 m o l 、 ジブチルアセドアミド 3 7 m l (0 . 2 2 m o l) 、 脱塩水 7 . 5 m l 、 R h (a c a c) (C O) ₂ 0 . 4 4 m m o l 、 2 - ホスファ - 2 - (エチル - N , N - ジフエニルアミド) - 1 , 3 , 5 , 7 - テトラメチル - 6 , 9 , 1 0 - トリオキサ - トリシクロ [3 . 3 . 1 . 1 { 3 , 7 }] - デカン 0 . 8 9 m m o l 、 およびトリメチル安息香酸 9 . 1 m m o

1 をオートクレーブに充填した。オートクレーブ中の内容物を 1 1 0 に加熱して、この温度で 3 時間保持した。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

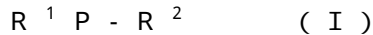
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) ロジウム源、および

b) 下記一般式の配位子



(式中、 R^1 は二価の基であり、結合しているリン原子と一緒にあって、2 - ホスファトリシクロ [3 . 3 . 1 . 1 { 3 , 7 }] デシル基 (この基中で、6 , 9 及び 1 0 位の 3 個の炭素原子が酸素原子で置換されており、1、3、5 及び 7 位の 1 以上が 1 ~ 6 個の炭素原子の一価の基で置換される) を表しており、 R^2 は一価の基であり、場合によって置換された、1 から 4 0 個の炭素原子を有するヒドロカルビル基である)

に基づく触媒組成物の存在下で、ホルムアルデヒドを水素および一酸化炭素と反応させることを含むグリコールアルデヒドの調製方法。

【請求項 2】

触媒組成物が、c) アニオン源を更に含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

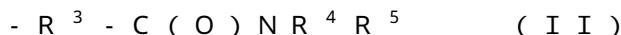
二価の R^1 基が、結合しているリン原子と一緒にあって、2 - ホスファ - 1 , 3 , 5 , 7 - テトラアルキル - 6 , 9 , 1 0 - トリオキサ - トリシクロ [3 . 3 . 1 . 1 { 3 , 7 }] - デシル基となっている請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

一価の R^2 基が、4 から 3 4 個の炭素原子を有するアルキル基である請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

一価の R^2 基が、一般式



(式中、 R^3 はアルキレン基であり、 R^4 および R^5 は、それぞれ独立にアルキル、シクロアルキル、アリールまたはアルキルアリール基を表し、あるいは R^4 および R^5 が一緒にあって二価の架橋基を表す)

である請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

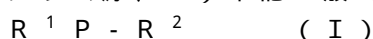
ホルムアルデヒド源が、ホルムアルデヒド水溶液であり、反応が水相および有機相を含む反応媒体で行われ、前記有機相と水相が 2 2 において混じり合わない請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

有機相が水と混じり合わないアミド溶媒を含む請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

a) ロジウム源、b) 下記一般式の配位子



(式中、 R^1 は二価の基であり、結合しているリン原子と一緒にあって、2 - ホスファトリシクロ [3 . 3 . 1 . 1 { 3 , 7 }] デシル基 (この基中で、6 , 9 及び 1 0 位の 3 個の炭素原子が酸素原子で置換されており、1、3、5 及び 7 位の 1 以上が 1 ~ 6 個の炭素原子の一価の基で置換される) を表しており、 R^2 は一価の基であり、これは場合によって置換された、1 0 から 4 0 個の炭素原子を有するアルキル基であり、または一価の R^2 基が、一般式



で表され、式中、 R^3 はアルキレン基であり、 R^4 および R^5 は、それぞれ独立にアルキル、シクロアルキル、アリールまたはアルキルアリール基を表し、あるいは R^4 および R^5 が一緒になって二価の橋かけ基を表す)、および場合によって c) アニオン源を組合せることによって得られる触媒組成物。

【請求項 9】

配位子 b) における R^2 が一般式 II である、請求項 8 に記載の触媒組成物。

【請求項 10】

請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の方法によってグリコールアルデヒドを調製し、次いで前記グリコールアルデヒドを水素化することを含むエチレングリコールの調製方法。